

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	平野区
学校名	加美東小学校
学校長名	奥 雅裕

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・加美東小学校では、第6学年51名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の平均正答率は69%で、全国の平均(67.7%)と比較して1.3ポイント、大阪市の平均(66%)と比較して3ポイント上回っている。算数科の平均正答率は67%で、全国の平均(63.4%)と比較して3.6ポイント、大阪市の平均(62%)と比較して5ポイント上回っている。

国語科の平均無回答率は1.9%で、全国の平均(4.2%)と比較して2.3ポイント、大阪市の平均(3.3%)と比較して1.4ポイント少なかった。算数科の平均無回答率は2.2%で、全国の平均(3.4%)と比較して1.2ポイント、大阪市の平均(3.2%)と比較して1.0ポイント少なかった。

学校全体として落ち着いた学習環境となっており、また、意欲的に学習活動に取り組む児童が多く、学力については、ここ数年で大阪市平均や全国平均に迫る上昇傾向がみられ、学習の定着がみられるようになってきている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

前年度は研究テーマとして「国語の基礎的な力の向上」を掲げ、国語の基礎的な力を「語彙力」「漢字の力」「文章を書く力」「自分の意見を述べる力」の4つと仮定し、重点を置いて取り組んできた。全体の平均正答率、学習指導要領の内容「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」「(2)情報の扱い方に関する事項」で全国平均を上回ることができた。昨年度より研究テーマをこれまでの本校の課題であった「書くこと」の領域については、大阪市平均を上回り、全国平均と同率であった。しかし、「(3)我が国の言語文化に関する事項」と「読むこと」では、大阪市平均と全国平均共に下回っており、前回調査に引き続き本校における国語科の課題であることが明らかになった。文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを話し合ったり文章をまとめ、読む力が向上するよう、指導の充実を図っていく必要がある。

〔算数〕

「数と計算」「図形」「データの活用」の各領域においては、正答率が大阪市平均・全国平均共に上回ることができた。特に図形のすべての問題で大阪市平均・全国平均を上回ることができた。一方、「変化と関係」の「速さなど単位量当たりの大きさ」について3問中2問が大阪市平均・全国平均を下回る結果となつた。単位量あたりの大きさを用いて比べることにより能率的に比べられることを理解し、単位量あたりの大きさを用いて比べられるよう、指導の充実を図っていく必要がある。

質問調査より

キャリア教育の推進に取り組んできた成果もあり、「将来の夢や目標を持ってていますか」については、肯定的な回答が86.3%と大阪市平均・全国平均の82.4%を上回った。さらに「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、最も肯定的な回答が78.4%と、こちらも大阪市平均の71.9%、全国平均の71.1%を上回る結果であった。また、「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」についても、肯定的な回答が100%と大阪市平均の95.7%・全国平均の96.7%を上回った。

キャリア教育の推進や学びに向かう適切な学習環境を整えるために実践してきた授業改善、そして互いを認め合う良質な関係づくりや学級集団作りに力を入れて取り組んできた結果が、学校全体としての落ち着きと子どもたち一人ひとりの心の安定に表れている。

今後の取組(アクションプラン)

本校における課題及び学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを推進し、多様化する社会を生き抜く力を育成していくことを目指す。昨年度研究を進めてきた「知的好奇心を高める授業の探求～物語の読みを通して国語の楽しさを感じる授業づくり～」の更なる向上を目指して、今年度の研究主題を「知的好奇心を高める授業の探求～基礎的な力をはぐくむ授業の指導」と設定し、国語の基礎的な力を「語彙力」「漢字の力」「文章を書く力」「自分の意見を述べる力」の4つと仮定し、これらの力を伸ばすための取り組みを6年間のつながりを意識しながら継続して行う。また、進んで学びに向かう力を育成するため、引き続き本物に触れる校外学習体験、出前授業にも取り組んでいく。日々の授業においては、いかに「深い学び」につなげていくかを大切にわくわくする授業づくりを実践し、家庭とも連携しながらICTを効果的に活用する学習にも取り組んでいく。

【 全体の概要 】

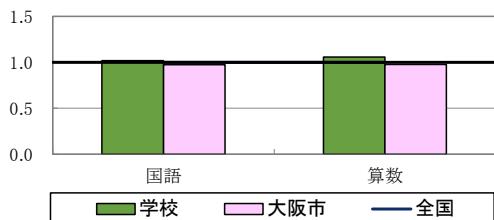
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	69	67
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

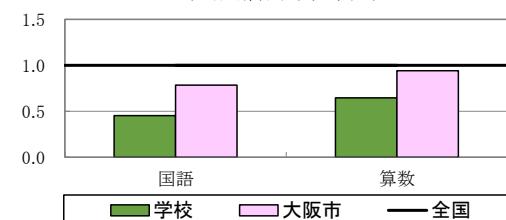
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	1.9	2.2
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



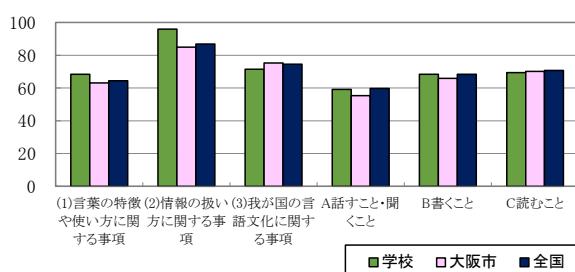
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	68.4	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に関する事項	1	95.9	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	71.4	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	59.2	55.3	59.8
B 書くこと	2	68.4	65.9	68.4
C 読むこと	3	69.4	70.1	70.7

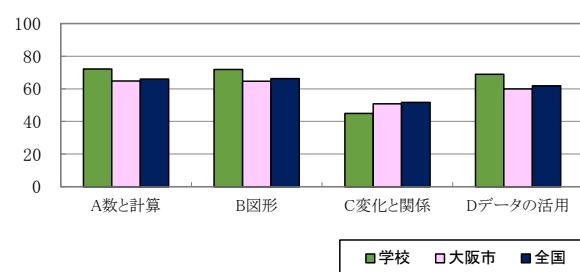
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	72.1	64.8	66.0
B 図形	4	71.9	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	44.9	50.8	51.7
D データの活用	4	68.9	60.0	61.8

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



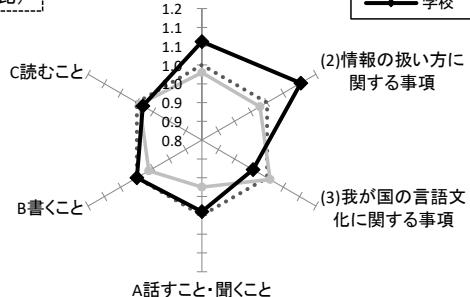
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

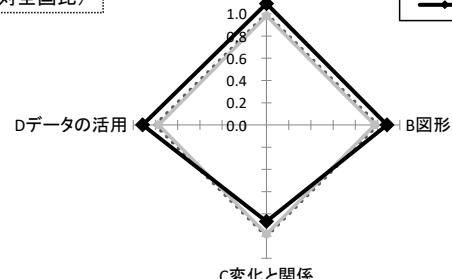
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項
(2)情報の扱い方に関する事項
(3)我が国の言語文化に関する事項

.....全国
大阪市
学校



算数
領域別正答率
(対全国比)

.....全国
大阪市
学校



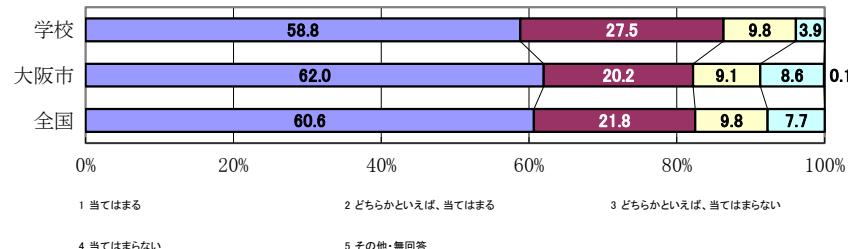
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

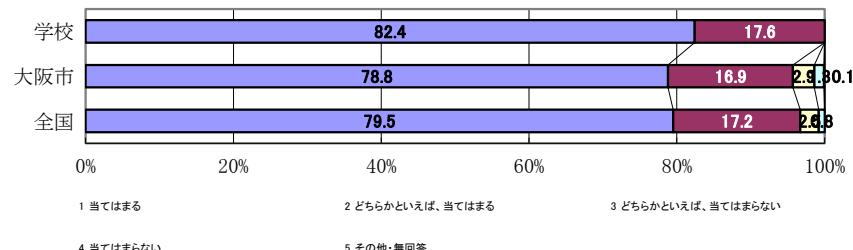
11

将来の夢や目標を持っていませんか



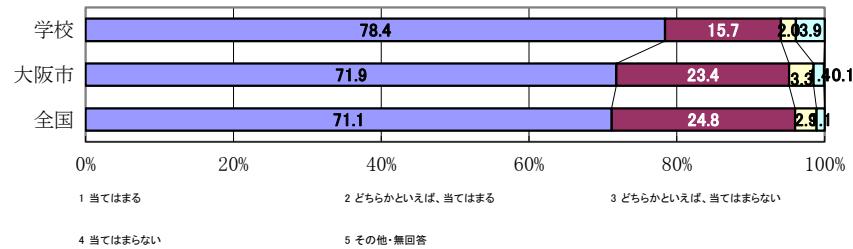
13

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



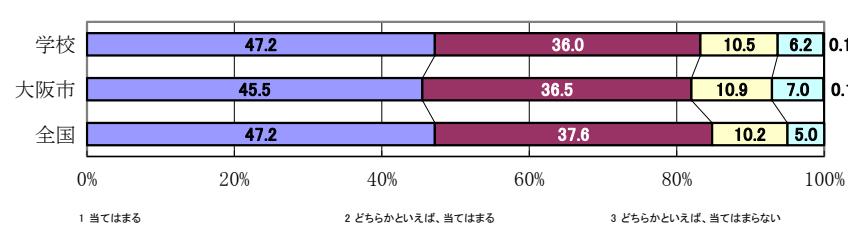
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



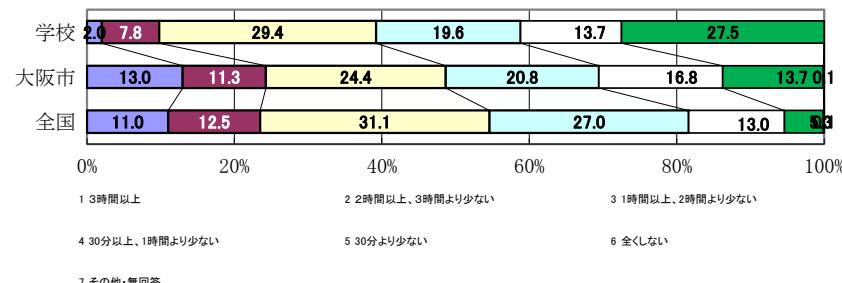
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



学校質問より

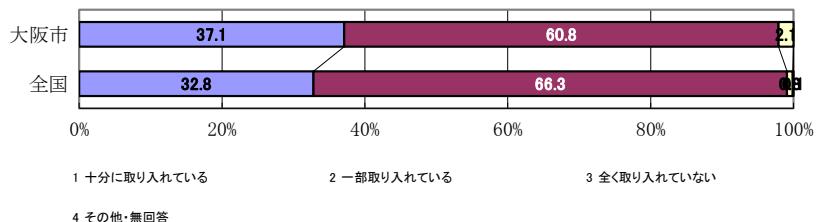
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

11

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

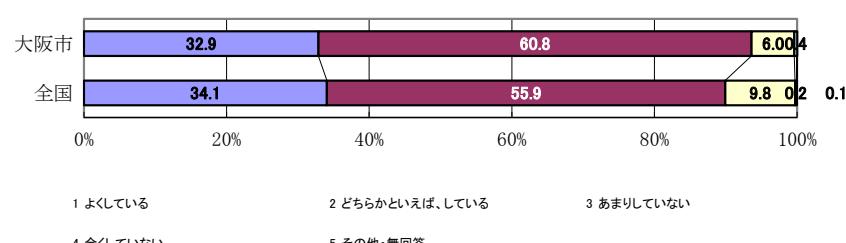
学校 「一部取り入れている」を選択



17

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

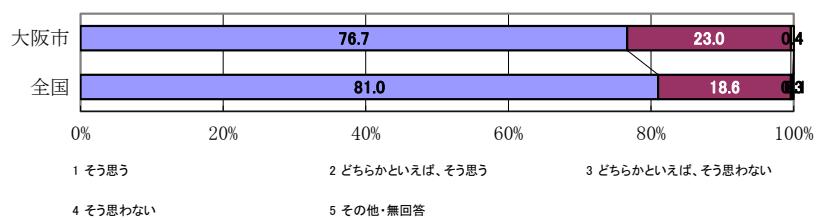
学校 「どちらかといえば、している」を選択



21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

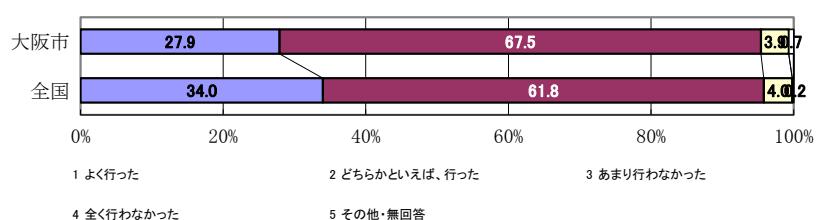
学校 「そう思う」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

学校 「よく行った」を選択



59

教職員と調査対象学年の児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「週1回以上」を選択

